

C3P マツダ CX5、アテンザ



- エンジンルーム内の圧力センサーを確認して下さい。
* オルタネーター上
- カブラーを抜き、センサーハーネスを割り込み接続して下さい。
* 4極カブラー左画像参照

C4P トヨタ ハイエース 1型



- 助手席のシートを上げ、エンジンルームにて作業が出来るよう留意して下さい。
- エンジンルーム内の圧力センサーを確認して下さい。
* 3極カブラー左画像参照
- カブラーを抜き、センサーハーネスを割り込み接続して下さい。センサーハーネスに延長ハーネスを接続し、配線を車内に引き回して下さい。この時にハーネスがハッチに挟まれますが、ダメージの無いように処理して下さい。

⚠重要: センサーハーネスはエンジンルーム内で使用する為、長期間使用された場合ハーネスが劣化し接触不良を起こす可能性があります。~1年半程度にて交換することを推奨致します。

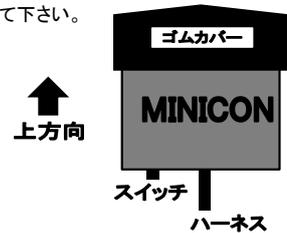
②本体への装着、固定

- センサーハーネスの4極カブラーにMINICONの4極カブラーを確実に挿入させ、ビニールテープにてテーピングして下さい。
* 4極カブラーは非防水の為



- MINICON本体を両面テープにより確実に固定して下さい。

- * 本体をエンジンルームに固定する場合は、熱、水の影響の受けない場所を選んで固定させて下さい
- * エキゾースト付近や、直接エンジン上に固定するのは絶対に避けて下さい。
- * 配線はファンベルト等に干渉しないようにし、点火系、インジェクター系、アンプ系、HID等のノイズが発生しやすい配線の近くは絶対に避けて下さい。誤作動する危険があります。
- * 本体をエンジンルームに固定する場合は、本体に付属のゴムカバーを被せて下さい。
必ずゴムカバー側を上方向に向け、固定して下さい(* C1Pは車内接続の為、付属されていません)



- <C1,4P> ハイエースディーゼル車は車内に本体を固定させます。付属の延長ハーネスを使用し、運転の妨げのならぬ位置へ確実に固定させて下さい。
- <C3P> マツダディーゼル車はエンジンルーム内の温度が、高温になります。付属の延長ハーネスを使用し、ヒューズ・リレーBOX内等に固定させることを推奨いたします。

- MINICON本体を車内に設置する場合、キットのハーネスでも短い場合は別売の延長ハーネスを使用して下さい。(DCMX-E12/約1.2m延長)

【作動確認方法】

確認作業は安全な場所でおこなって下さい。

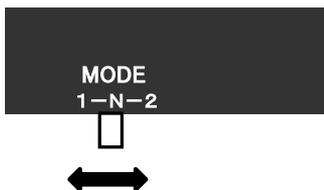
本体が正常に動いているかMINICON本体横のLEDの状態とエンジンの吹け上がりにて確認して下さい。



- ①イグニッションキーをONにするとLEDは点灯します。
- ②エンジンを始動させて下さい。
- ③エンジンチェックランプ等の警告灯が点灯せず、エンジンが正常に吹け上がればOKです。

【設定方法】

- MINICONは本体横の切り替えスイッチにより下記の3モードの設定が出来ます。走行条件等を考慮し、最適なモードに設定して下さい。
- 本体品番により内容が異なります。

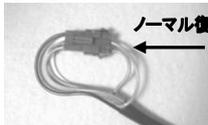


MODE	内容(C1P、C2P、C3P)
1	低速域～高速域まで全域にわたりレスポンスUPを狙ったモードです。他メーカーのディーゼルチューニングシステムとの組み合わせ時にも使用できます。
N	ノーマルセッティングです。
2	低速域～高速域までスムーズ感に重点を置いた設定になっています。他メーカーのディーゼルチューニングシステムとの組み合わせは避けて下さい。

MODE	内容(C4P)
1	低速域～高速域まで全域にわたりレスポンスUPを狙ったモードです。
N	ノーマルセッティングです。
2	低速域～高速域までさらなるトルクUPを狙ったモードです。

【ノーマル復帰方法】

- 万が一、エンジン不調等の症状やエンジンチェックランプが点灯する場合は、下記の要領にてノーマル状態へ戻して走行して下さい。



ノーマル復帰カブラー

- 1) センサーハーネスの4極カブラーより、MINICONの4極カブラーを抜き、センサーハーネス側へノーマル復帰カブラーを差しなおして下さい。

ノーマル復帰しても不調の状態が直らない時は？

- センサーハーネスをセンサーより抜き、完全にノーマル状態に戻して下さい。
- 完全にノーマル状態にしても直らない場合、MINICONの制御とは関係の無い部分の原因が考えられます。

【トラブルチェック】

 警告 走行中などでエンジンチェックランプが点灯しエマージェンシーモードに入り、エンジンが吹けあがらない状態になった場合は、車両を安全な場所へ移動し一旦停車させ、エンジンを停止し1～2分後にMINIGONをノーマル状態にして再始動させて下さい。

<アイドルリング不調>

- ハーネスの挿入方向、接触等を再確認して下さい。
- 取り付け作業時にバッテリーをはずしてしまうとアイドルリング学習が必要です。カーディーラー等にて確認して下さい。

<エンジンチェックランプ点灯、吹けあがらない>

- ハーネスの挿入方向、接触を再確認して下さい。
- 他メーカーのサブコンと組み合わせている場合はモード1にて使用して下さい。

<点灯したチェックランプを消す方法>

- 正常な状態で、<エンジン始動>⇄<1分間エンジン停止>を3～5回繰り返して下さい。ECUが正常と判断し、エンジンチェックが消えます。
- 何度やってもエンジンチェックが消灯しない時は、カーディーラー等の専用機器のある工場にてエンジンチェックランプを消してもらって下さい。